

A-1

「海辺の自然観察&ビーチコーミング」体験 沖ノ島

具体的な活動：

沖ノ島は東京湾に突き出た自然公園に指定されている周囲1kmの無人島。砂州で陸と結ばれているので歩いて渡れる。ガイドの案内で沖ノ島の周囲の磯場（タイドプール）に住む生物の観察をし、島を一周しながらビーチに打ちあがった貝殻やビーチグラスなどの漂着物を観察する。（ビーチコーミング）コース上、島内の亜熱帯性植物の観察。

1. 概要説明（沖ノ島入口駐車場）
2. 島の北又は南部の磯場で小さな海の生物を観察します
3. 島を一周しながら遺跡、サンゴと海中のお話し、ビーチコーミング等実施

実施場所：沖ノ島又は館山周辺の海岸で実施

実施時期：通年実施可能

活動人数：10～60名（60名以上応談）

活動時間：2.5時間

服装・持ち物：体温調節可能な服装（海は1枚多めの服装）、濡れても良い靴（ビーチサンダル不可）、タオル、帽子、軍手、ビニール袋、飲み物



雨天・荒天時：

室内で貝殻を使った標本作りとスライド等を使い、海辺の生物貝、サンゴなどの楽しいお話をします。



活動状況



①沖の島入口の駐車場でガイドと合流しガイドの紹介及び、海辺の観察での注意事項の説明、その後収集した漂流物や貝などを提示して、イメージづくりと目ならしをしてスタート。

②東側の海岸は、縄文時代の海中遺跡もあり、思わぬ発見も？
岩場の先30mの海中にはサンゴの群生も。パネルを使って海中のお話も聞けます。



③島の中心部は、手付かずの自然が一杯、植物層も豊かです。
約1,000年前から信仰のある宇賀明神と樹齢約300年の巨木「タブの木」がそびえています。

④周囲の海岸は砂浜と磯(タイドプール)が交互に繰り返し、貝殻採取や潮だまりで海辺の生物の観察ができます。

